

図書館・ブックフェスタでの実践報告

記入日：2026年 5月 28日
大阪府／上林 礼子

1. はじめに

地元（大阪府岸和田市）でネイチャーゲームをできる場はないかと考えていたときに、市立図書館で、市民から本にまつわる自由な企画を募集している「ブックフェスタ」というイベントを開催しているということを知りました。ネイチャーゲームでは本が登場することも度々あるので、ここで何かできるのではないかと思い、思い切って応募してみました。

2. 当日の実践内容

●2025・秋（参加者4名/大人3・子ども1）

① 木の葉のカルタとりと同じものを見つけようの中間のようなもの
限られた場所での実施のため、事前に落ち葉や木の実を、同じ種類のものも複数集めておきました。当日これを箱に入れ、見本で示したものと同じものを参加者の方に探してもらうという方法をとりました。その後、落ち葉についてや同じものでもそれぞれ違っているというような本を紹介しました。

② カモフラージュ
わずかな植栽区画に出てカモフラージュを行い、数ある生きもののかくれんぼのような本を紹介しました。

③ ノーズ
少し時間があつたので、ノーズをしました。

●2026・春（参加者10名/大人5・子ども5（途中退出2名、途中参加2名））

① ノーズ
ダンゴムシやミミズから土壌生物の本を紹介し、コウモリの後にコウモリについての絵本を紹介して、次のアクティビティにつなげました。

② コウモリとガ
今回は事前に少し広い場所を確保していただいていたので、身体をつかったアクティビティも行うことができました。

③ 森の色合わせ
前回使った植栽地に出て、事前に作っておいた折り紙リースで森の色合わせをして、伝統色についての本を紹介しました。

3. 成果と課題

・まずは、私自身の目標である、地元でネイチャーゲームを知ってもらうという小さな一歩を踏み出すことができました。

図書館側で、①小さい記事ですが市の広報に載せる②自分で作ったチラシを市のホームページに載せたり市内6か所ある図書館に置いたりしてくれるということで、個人が行うときに一番ネックになる広報の問題を解消することができました。また、そのような場（雨でも安心できる屋内もある）を提供していただけたということがあってのことでした。

・それでも一回目はあまり周知されておらず、通りがかりの人に参加を呼びかけて、数名集まってくれました。二回目は、通りがかりの人にも声をかけましたが、事前にチラシを見てわざわざ参加してくれた人もおり、嬉しい驚きとともに、緊張が走りました。

・木の葉のカルタとりでは、実際に落ち葉や木の実などを準備したことで、似たようなものでもじっくりと見ると違うこと、手触りやにおいなども感じてもらうことができ、普段自然に触れることがないのでよかったという声を聞けました。しかしその声からは、都会とは言えないまでも、現代生活ではいかに自然に触れる機会が少ないかということを改めて認識させられ、少しでもそのような機会を作ることができれば、との思いを持ちました。

・参加者の方は新鮮な気持ちでそれなりに楽しんでいただけて、自然に対して今までと少し違った視点を持っていただけたかなという印象は持ちましたが実践することで見えてきた課題がたくさんあります。

経験の乏しい自分一人で、限られた場所と時間でできること、と考えましたが、時間配分が難しく、欲張って色々したいと思ってもできないと思ったものの、アクティビティは多めに準備しておいて引き算するぐらいの方がいいと改めて身を持ってわかりました。また、進めることや本を紹介することに精一杯で、声掛けや参加者の反応を見るということがうまくできていない部分があったと感じています。

ブックフェスタは毎年春と秋に開催されているので、今後も続けていき、見えてきた課題をひとつひとつクリアしていった実践力をアップさせるとともに、近隣の方々にシェアリングネイチャーの魅力を伝えていければと思っています。

4. 本報告を参考にされる方へ

レベルの低い報告になってしまいましたが、逆に、実践の機会が少なかったという方にも、ハードルを下げて実践に踏み出す参考になればと思います。やってみて、課題がたくさん見えてきました。でもそれは、いくら教本を読んでもやらなければ得られなかったことです。初めから大きなことはできないので、小さな一歩を踏み出す仲間がたくさんできれば嬉しいです。

5. 活動写真



2025・秋
書架に囲まれて木の葉のカルタとり



2025・秋
カモフラージュ



2026・春

上：ノーズ。横に本も置いて紹介しています。
右：森の色合わせ

